

⑤ 国家安全保障の脅威“静かなる侵略”

2024年の新生児の3%が外国人の赤ちゃん～「日本の低出生数がある程度補う」と日経新聞が10月9日報じたが、手放しでは喜べない。大量移民は日本国の人口構成や主権を変質させる戦略的リスクを孕む。専門家は「サイレント・インベージョン（静かなる侵略）」あるいは「リプレースメント・イミグレーション（国民の入れ替え）」と呼び、国家安全保障に関わる戦略的脅威とみなす。つまり移民を装った国家の乗っ取りであり、“日本民族の解体計画”ではないだろうか。移民を巡る議論を「少子高齢化対策」から「国家の主権と安全保障」へと引き上げる必要がある。



結論: 日本の移民政策は我々に厳しい選択を突き付ける。政府のゆるい移民基準と税金支援が問題だ。共に穏やかに暮らす外国籍の人々もいる。明確なビジョンを持って意識的に繁栄した国家を築くのか、あるいは自分たちの国とは言えない未来へとさまようのか。

すべての国民が深く考え、政府に答えを要求するのは今しかない。

2. 名古屋市の藤前干潟って知ってる？



藤前干潟は、愛知県名古屋市南西部、庄内川、新川、日光川の河川が伊勢湾に注ぐ河口干潟で、オーストラリアやニュージーランドなど南半球

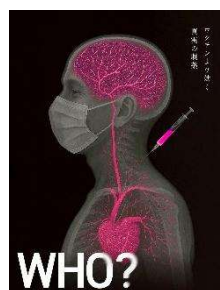
で越冬するシギ・チドリ類などの渡り鳥にとって、重要な中継地（えさ場）です。

かつては、名古屋市のごみ処理能力の限界から約 105ha にも及ぶ最終処分場としての建設計画がありましたが、粘り強い市民運動の結果、計画は撤回され保全されました。

さらに 2002 年（平成 14 年）にはラムサール条約湿地に登録された国際的にも重要な湿地であり、愛知の豊かな自然のひとつです。



3. おすすめ映画情報



2024 年 9 月 28 日、東京・有明で大規模なデモが実施された。横断幕やプラカード、WHO に対する痛烈批判のTシャツ。

デモ参加者たちへのインタビューを通して、彼らがなぜデモを起こすようになったのか、何に対して問題を提起しているのかを浮き彫りにする異色ドキュメンタリー映画。

監督：なるせゆうせい
「君たちはまだ長いトンネルの中」
「縁の下のイミグレ」



『WHO?』予告

<https://www.who-movie.com/>

4. 編集後記

10月は旧暦の異名で『神無月』と呼ばれます。これは『全国の神々が出雲大社に集まり、地域には神様が不在となる月』だそうです。一方、出雲では10月は『神有月』と呼ばれます。今ごろ出雲に集まった神々が日本の将来について、真剣に議論をされていることでしょう。

私たちが私たちにできること～「なんかおかしい！」と感じたら、情報を共有し声をあげていくこと～を引き続きしていきます。☆仲間募集中☆



メルマガ申込み

ゆうこく連合愛知では《ゆうこくタイムズ》を不定期に発行していますが、現在電子版『ゆうこくタイムズ』メルマガの発行準備をしています。

メルマガでは各地の集まりなども載せていきます。「こんなイベント企画してるよ♪」などありましたら、お知らせください(^o^)/ ◆連絡先: ゆうこくタイムズ編集部 yukokuaichi.mailmagazine@gmail.com

